





蒲郡市生命の海科学館特別展
国立科学博物館巡回展

未来へ つなぐ 博物館











標本や資料を見ながら、
4つのしごとをのぞいてみよう





2026
12/17 THU ▶ 2027 **4/11** SUN

蒲郡市生命の海科学館
3階 科学ひろば
Gamagori Natural History Museum

開館時間：9:00 ー 17:00 ※入館は閉館時刻の30分前まで
休館日：火曜日（火曜日が祝日の場合は翌平日）、12月29日～1月3日
※ただし1月5日・3月30日・4月6日の火曜日は開館
観覧料：無料
常設展観覧料：一般500円（団体300円）/ 小・中学生200円（団体100円）
※団体は30名以上 / 未就学児は無料 / 蒲郡市に在住の方は市民利用証提示で無料
主催：蒲郡市生命の海科学館・国立科学博物館
お問い合わせ：TEL 0533-66-1717　FAX 0533-66-1817
https://www.city.gamagori.lg.jp/site/kagakukan/





蒲郡市生命の海科学館特別展
国立科学博物館巡回展

未来へつなぐ博物館

博物館は、標本や資料を集め、残し、調べ、伝える場所。
そこには、「なぜ？」「どうして？」をひもとくヒントがつまっています。
受けつがれてきた標本や資料は、未来につながる発見を生み出しています。
さあ、博物館の4つのしごとをのぞいてみましょう。

1章 集める

博物館では、珍しいものだけでなく、ありふれたものも標本や資料として集めています。その中から、未来へ残す価値のあるものを見極めることが、学芸員の重要な仕事です。



2章 残す

標本や資料は、見つけたときに集めておかなければ、あとから手に入らないこともあります。標本の作り方をはじめ、残し続けるためにさまざまな工夫をしています。





3章 調べる

標本や資料は、集めて終わりではありません。一度研究に使われても、新しい研究や技術により、繰り返し新たな発見が生まれます。そうして標本や資料に新たな価値が加わります。



4章 伝える

集め、残し、調べることで生まれた発見を、多くの人へ伝えることも博物館の大切な仕事です。見えないものまで伝えるために、工夫をして展示やイベントを行っています。

蒲郡市生命の海科学館
◀◀◀ がまごおりしいのちのうみかがくかん
Gamagori Natural History Museum
〒443-0034 愛知県蒲郡市港町19番1号

アクセス　access

〈電車で〉
ＪＲ東海道本線または名鉄蒲郡線「蒲郡駅」下車
南口から南へ徒歩3分

〈お車で〉
東名高速・音羽蒲郡ICからオレンジロードを通り約20分
国道23号バイパス（名豊道路）蒲郡ICから約10分

駐車場　parking

無料駐車場（自家用車約60台・大型バス5台収容）有り



科学館 HP

有孔虫群集、ベルヌイルビカリア、フタバスズキリュウ頭骨（レプリカ）、チバニアン期の由来となった地層の岩石（泥岩）、
さまざまなアンモナイトと二枚貝、カルカロドントサウルス頭骨（レプリカ）　写真：国立科学博物館／その他　写真：蒲郡市生命の海科学館